

ちよつといし話

～ おみくじ ～

21年6月1日

旅に出た時、ふと立ち寄る名所旧跡で「おみくじ」を引かれる方が見えると思います。この様に「おみくじ」はその場に依じて引く事が多々あります。意を決する為に「おみくじ」を引かれる方に私が「おみくじ」で判断する材料の一端をお話致しますと、私は、凶は「考運こううんにして熟慮じゅくりよ」・吉は「興運こううんにして伸展しんてん」・大吉は「好運こううんにして飛躍ひやく」と言う意味に考えております。そして全てを包み込む信仰は「開運にして平和」であります。当山善入院は「日、月、年」守護の寺として広く世間に承知されています。現世の利益を充分に受けられ、後世は安楽国に往生させて頂ける寺です。信仰いっわに偽りなく、身勝手な望み、**分不相応ぶんふそうおうな願**は仏様に祈願を致しましても成就する事はありません。人間も母体から出て、此の世に入り、死に出でて他の世界に入り、他の世界を出て、又次の世界に入る。魂いが出たり、入ったりの繰返しくりかえをしているのであると私は思っています。無意識の内に動作をすることがありますが、根源に魂の存在があるから、所動作に対しての納得が出来ます。ではその魂を誰が何処どこで創ったのかは判りません。判りませんが神仏の力を持ってするしかないと思います。皆さん理解出来ない不可思議な事があるから神頼み、佛頼みほとけたのをして見えるのでしよう。その一つの表れが「おみくじ」であると思います。我々は過去ことの事柄がらに対しては実践結果を知っています。しかしながら一寸先は真っ暗で想像、予言に頼るしかありません。そこで「占い師」に尋ねたり、「おみくじ」を引いてみたり、色々な迷いを自分だけで決するのでなく、人に相談したりしながら色々情報収集をして計画ねを練るわけです。徳があれば幸運うそに事は運び、不徳なれば不運うそに成ると言う事でしょう。八卦八段、嘘九段と昔から言われております。日頃から徳積みはっけを心掛け占いの上を行く様にしましょう。上に書きました様に意を決するに「おみくじ」を引かれた方はぜひ私の判断に沿って進まれたら良いと思います。如何いかでしょうか？福德の第一は心身が健康である事です。呪りょうりょう 呪

善壽界 善入院油掛地藏尊